

# JCI PRESS

Junior Chamber International Haramachi's annual magazine

南相馬市・飯舘村の青年経済人で構成する「一般社団法人 原町青年会議所」の  
今年1年間行ってきた活動・運動をご報告する広報誌です

# 2022



# Pioneer with Action!!

# 子どもたちが描く ふるさと 絵画展



南相馬展 イオンスーパーセンター南相馬店



表彰式



## 受賞作品



市長賞 4年生 佐藤季歩

市長賞 5年生 森岡和音

市長賞 6年生 中橋空奏



### ●JRA 競馬博物館 (JRA東京競馬場内)

会期:2022年10月29日(土)  
~2023年2月19日(日)  
※東京競馬開催時は入場券が必要



### ●大井競馬場

会期:2022年10月31日(月)  
~11月18日(金)



全国展 大井競馬場

一般社団法人原町青年会議所(以下、JCI原町)では、「相馬野馬追」をテーマとした絵画を募集する絵画展事業を、南相馬市内小学4~6年生の児童を対象として本年も実施しました。  
新型コロナウイルスの影響を受け、相馬野馬追は昨年まで2年連続で縮小開催となっていました。本年は3年ぶりの通常開催ということもあり、昨年を上回る281点の応募がありました。  
応募いただいた絵画は、市内はもちろんのこと、入賞作品を都内2ヶ所で展示し、大きな反響をいただきました。



全国展 JRA競馬博物館

## 3年ぶりの全国展 JRA競馬博物館・大井競馬場 2会場開催!!

本年は地域外で作品を展示する「全国展」を3年ぶりに開催しました。これまでで初となる、「JRA競馬博物館」及び「大井競馬場」の2会場同時開催を実施し、競馬場来場者を中心に、既に3万人以上にご来場いただきました。(競馬博物館においては現在も継続展示中)  
相馬野馬追には競走馬を引退したサラブレッドが多く出場しており、かつてターフを沸かせた競走馬たちの当地方での活躍に興味を抱いていたとともに、子どもたちの目を通じた馬たちの表情に目を輝かせていました。



角居 勝彦 すみい かつひこ

JRA元調教師。シーザリオやエピファネイア、ヴィクトワールピサといった多くのGI馬を世に送り出す。トークショーの日に開催された天皇賞・秋は2008年にウオッカで制覇。  
2021年に調教師を引退。現在は(一財)ホースコミュニティの活動などを通して、引退馬の支援に尽力している。



相馬 行胤 そうま みちたね

特定非営利活動法人「相馬救援隊」代表。馬を活用した地域の馬事文化振興などに向けて活動している。  
相馬家第34代にあたり、昨年まで相馬野馬追の総大将を務める。本年より総大将を長男の言胤(としたね)氏に譲った。

## 競馬史に残る 伝説をつくった元調教師と 相馬行胤氏がトークショー

全国展の開催にあわせ、10月30日にはトークショー「引退馬と相馬野馬追」を開催しました。

競馬で最もグレードが高いGIレースである「天皇賞・秋」の開催日ということもあり、競馬場には約6万人の観客が訪れ、トークショーにも多くの方に来場いただきました。

元調教師の角居勝彦氏と、昨年まで相馬野馬追で総大将を務めた相馬行胤氏の2名に出演いただき、JCI原町理事長の佐藤も参加させていただきました。

引退競走馬の南相馬市での活躍を中心に、地域と馬がともにある姿や、絵に描かれた騎馬武者の特徴などについてお話いただき、参加した人々からは相馬野馬追や当地域にぜひ足を運びたいといった声をいただきました。



# 対談

## Pioneer with Action!!

JCI原町が2022年度掲げたスローガン「Pioneer with action! ~未来を行動で切り拓こう~」。  
相馬家第34代の相馬行胤氏と対談を行い、未来を切り拓くための行動として、  
JCIの役割は何か、JCI原町として未来に向けて何ができるのか探りました。



相馬家第34代

### 相馬 行胤

Michitane Soma



原町青年会議所  
第53代理事長

### 佐藤 健太

Kenta Sato

「Pioneer with action!」未来を行動で切り拓こう」を掲げ、今年度活動してきました。ここまでを振り返っていかがでしょうか。

**佐藤** 実施すべき事業をやってきたところですが、反省も多いです。JCIとしてまだまだできることはあるだろうと思っっています。飯館村から理事長を務め、村内を回るぐらいでなかなか達成できなかったのが反省点と思っています。

**相馬** 日本青年会議所って面白いシステムだと思っっている。仲間でお金を出し合っって地域にとつて良いと思っっている。だから誰も文句を言わない。でも、単年度で事業が終わってしまうので、理事長がおっしゃられた反省点も理解できる。それでも、「やり切る」というスタンスに素晴らしいものがあるなと感じている。その年の理事長のカラーが出る面白いシステムじゃないかな。

相馬野馬追という歴史の伝統文化の継承者として言わせていただくと、一千年間同じことをやろうと思っつても、毎年必ず失敗や反省点が出てくる。だから1年間、理事長を務めたくらいで成功するって思うのは10年早い、まあ100年早いって思うのかもしれないですね。ただJCI原町としての歴史からみると50年以上のことをやられていて、初めて飯館村から理事長が出て、民間が自治体の枠を越えて大きな広がりを見出すというのには新しい第一歩なんじゃないかと思う。まずは村内を回るくらいしかできなかったと言われている。理事長に続くのかな「自分たちの町だけでなく、隣にも仲間がいる」というのを思っつて下さったのは大きな一歩になったのだと思っっていますね。

旧相馬藩地域内のJCIとして野馬追や相馬藩にどのような関わりを持ち、どのような事業ができるでしょうか。

**佐藤** せっかく旧相馬藩地域に所在地を置くJCIとして、何かそのアイデンティティーに寄与するものが組織を使っつてできないかと考えている。どのようなものになるのか探っつていきたい。

相馬藩内には他の各JCIもある。震災時、バラバラになっつて枠を越えた時期があっつた。

その時、相馬藩という枠で動くこととまりが凄く良かった。アイデンティティーの根っこにしがみつくと何かがあると思っつて。広さも良く、いろいろなコンテンツやそれぞれの思いがある。JCI原町だけでなく、各JCIなどと連携し、うまく生かせれば良いと思っつています。

**相馬** そう言っつていただけるのはすごくありがたい。私が理事長と初めてお会いしたのは標準まつりの時。大熊、双葉、浪江の方々が何かやろうとするとJCI原町さんも応援に行く。JCIは全国、世界の組織なので周りのLOMを応援するっていう考え方があっつると思っつています。その中で、昔の区切りである相馬藩にアイデンティティーを持っつていただけるのはすごく私とすれ

ばありがたいこと。そういう思いがあるからこそ単年度と言っつても絵画展のように10年続っつてきていることもある。ふるさとにはこういっつた行事があり、それを子どもたちと一緒に応援しっつていきたいという思いを皆さんお持ちだと思っつています。

今回のテーマみたいはそのバイオリズムとしてやらなきゃいけないことは我々のふるさとには多くあっつる。3・11時の多くの社会問題・課題をまだまだ解決しっつていかなければならない。常にチャレンジングなことをしっつていかなければいけない。何のためにやっつているのかと言っつたら、次世代を担う子どもたちのため、自分たちが何ができるのってことを考えたいと思っつています。だから「これ」っていうものがなくとも、私どもの非営利団体の活動や野馬追を継承しっつてくださったという交流、コミュニケーションができて、お互いが持っつていっつる力を使っつていただければ、より地域のためにできることってあるのかなと思っつています。

**佐藤** 今すぐ「これ」っていうのは難しいかも知れませんが、こういう風通しがよく、フランクに話せる方がいらっつしやることは相馬藩の強み。溝がなく距離感なく接しっつていただける。これからは連携しながらやるのがたくさんでっつてくると思っつています。その時に機動力よくレスポンスよく動けるのがJCIの強みだと思っつていますね。

今後、発信する方法についてお聞かせ下さい。

**相馬** 皆様の告知や、JRAさんのご協力によっつて、絵画展みたいによくの人が来られる機会でも、野馬追のこと知っつていて見に来られたという方も多かつつたかもしれないですが、まだまだ野馬追を見に来られていない方もいるわけですね。僕は皆様が活動しっつていっつることを、もっつと地元の方に知っつていただくことが必要じゃないかと思っつています。行政が発信したいグローバルなところ、大きなところで発信ができる若き団体でっつてやっつぱりもっつと協力しっつてもらいたいと思っつています。皆様が活動しっつていることを、どんどん発信しっつていくことで地域のためになっつると思っつています。まず知っつていただくことが必要。JCIに入会することでも何かができる、人との繋



がりができるっていうことが分かれれば地元の未来を担う若き経営者たちが青年会議所に入っつて、「ここにいっつるといっつるんな人と出会っつて、いっつるんな学び方があっつて、しかもそれが自分たちの地域じゃなくとも、もっつと未来が日本、世界に広がる」ってことを相馬の子ももちが、若い人たちが理解することによっつて、もっつと未来は本当に広がっつていくと思っつています。発信は他にも必要ですが、ぜひ中にも発信しっつていただいっつて、地元の方々に皆様がやっつっている光景しっつていっつるものを伝える必要性はあっつると客観的には思っつていますね。

最後になりませんが「地域の未来」をどう切り開いっつていくかのヒントをお聞かせ下さい。

**佐藤** まさに絵画展みたいなことだと思っつて。一歩出っつてやっつてみる。まずはそのきっかけを作っつてみるのか、そういうことを学ぶのがJCIだと思っつて。100%成功にこだわることはないわけだ、きっかけをちゃんと作る団体しっつていっつるのはいっつつと価値があっつる。一歩一歩の行動が地域の未来に繋がっつていくと思っつています。

**相馬** 理事長が掲げられたスローガン、僕は震災以降、当時の子どもたちの行動力や行動に力をもっつていました。あんなことがあっつた時に「お前ら頑張れよ」って言えなかつつたけど、そんな時子どもたちは「どっかからきたの？うちは家が柱しっつかないよ。」なんて平気で言っつた。そんな子どもたちがやっつぱり相馬に残っつて何かをしっつてもらいたい、頑張っつてもらいたいって思っつてからこそ、子どもたちが書いっつてくださった絵を、もっつと多くの方々に見っつてもらい、何かを感じっつてもらいたい。それが行動に繋がっつていっつると思っつています。皆様のやられていっつる活動は、やっつぱり良いことを広めるための力を持っつていっつる。若き皆様方の力や子どもたちの魅力、可能性をいっつと世界に発信しっつていく、広げっつていく行動を今後も継承しっつてくだされば、地域はもっつと魅力的になるだろっつうし、逆に言えば、俺らが活動しっつていることは日本中に、世界に認められていっつるって思っつています。地元の伝統文化が自然に継承されていっつると思っつています。ので、今後とも頑張っつていただければと思っつています。

佐藤・相馬 ありがとうございます。

座談会  
あすびと福島×原町青年会議所

# 地域に対する想い



南相馬市の一般社団法人「あすびと福島」様とJCI原町の新入会員を中心につくる特別室(小林隼人室長)所属の会員らによる座談会が9月30日、市内原町区のあすびと福島センターハウスで開催しました。福島復興を担う人材の育成と輩出などを目標に掲げ、小学生から社会人までの研修を手掛ける「あすびと福島」様との座談会を通じ、地域をけん引する青年会議所としての意識を新たにするとともに、未来、明日に向けて夢の広がるひとときとなりました。

座談会では、あすびと福島代表理事の半谷栄寿さんに取り組み内容やこれまでの経緯について説明を頂きました。小高区出身の半谷さんは東日本大震災と東京電力福島第1原発事故後、支援物資を届けるなどの支援を続ける中で、「継続的な仕組み」を築くような支援が必要だと考え、人材育成を目標に掲げ現在へ繋がっているとお話をいただきました。高校生や大学生が地元でイノベーションを起こす大人たちをロールモデルとしてJCI原町の会員でもある、やまさんを取材し発信するなど、さまざまな挑戦を繰り返して人材育成の取り組みや、多様な企業が利用する社会人研修を2つの柱として取り組まれていることなど、目標に向けて誠実に活動続ける半谷さんをはじめとした「あすびと福島」様の取り組みに刺激を受けました。

会員の仕事についても盛り上がる場面がありました。非食用米由来のバイオマスプラスチック「ライスレジン」を製造するライスレジン福島、ジャンボタクシーを充実させる富士タクシーの取り組みについて「社会的価値」を生み出す課題解決型の取り組みなど意見交換しました。

特別室に加え、佐藤健太理事長、佐藤拓也専務理事も参加しJCI原町の活動についても意見を交わしました。南相馬市を拠点に、人材育成を続ける「あすびと福島」さんの事業に青年会議所として地域に何ができるのか多くの学びを得ることができました。会員と「あすびと福島」様の縁から実施された今回の座談会を皮切りに、さらに交流を深めていくことを語り合いました。

## 立候補予定者による

# 南相馬市長選挙公開討論会



1月7日、任期満了に伴う南相馬市長選挙を控え、立候補予定者による公開討論会を南相馬市民文化会館ゆめはつにて開催しました。

現職の門馬和夫様と元職の桜井勝延様に出演いただき、南相馬市の政策や課題について何うことで、両立候補予定者の考えを知り投票の参考にしていたために開催したもので、当日は約200名の市民に来場いただきました。(肩書は開催当時)

討論では公益社団法人日本青年会議所東北地区福島ブロック協議会副会長の金子善弥君にコーディネートをお願いし、事前に青年会議所内にて検討した質問に対して、○×形式や質問形式にて回答いただきました。

喫緊の課題である人口減少への対策や子育て環境整備などについて何ったほか、ロボット産業を活用したまちづくりのあり方・今後歩むべき中長期的ビジョンなど未来を見すえた問題についても伺い、両予定者ともそれぞれの考える問題点やあるべき姿をお話しいただきました。

また、今回の開催では初めてYouTubeを使用したライブ配信を実施し、1000回以上の再生回数を記録しました(アーカイブ配信含む)。

多くの市民にご来場、またライブ配信をご覧いただいたことで、それぞれの候補者の考えを比較検討し、より政策本位の投票に繋がっていくとともに、投票率の向上にも寄与できたと考えています。今後は課題となっている若年層の投票率向上に向けてどのような事業ができるか、青年会議所として引き続き向き合っていくべき、よりよい南相馬のまちづくりへと今後も繋がっていきます。



**YouTube**

当日の配信を記録した動画アーカイブを以下のQRコードより視聴可能です。

# わんぱく相撲

原町場所・福島ブロック大会・全国大会



5月29日に「第27回わんぱく相撲原町場所」を南相馬市相撲場にて開催しました。2019年以來3年ぶりに小学1年生から6年生までを対象とし、南相馬市・飯館村内の男女合わせて25名の児童の皆さんに参加いただきました。参加選手に「株サン・ペンディング相双様よりドリンクを、上位入賞者にはふくしま未来農業協同組合様よりお米を協賛いただきました。また、「体の大きな相手にも、果敢に立ち向かっていった」「礼節をわきまえ、元気にあいさつが出来ていた」「勝負に負けて悔しくても、すぐに立ち上がった」の3項目を基準として特別賞を設け、賞品として国産牛肉を受賞者9名にお渡ししました。

6月19日には福島ブロック大会が会津若松市内で開催され、原町場所を勝ち抜いたわんぱく力士たちが熱戦を繰り広げました。ブロック大会では3名の選手が優秀な成績を収め、全国大会の切符を勝ち取りました。

8月21日に女子の全国大会が沖縄県は浦添市のANAとすこいパーク浦添で、10月29日、30日には東京都の両国国技館にて男子の全国大会が開催されました。残念ながら入賞とはなりませんでしたが、同じ頂点を目指して競い合う全国の仲間と出会い、上には上がいることを実感できたのは子どもたちにとって大きな経験となりました。また、男子全国大会の夜には元車いすバスケットボール選手の根本慎志氏の講演があり、友情・勇気・感謝の心について学びました。

本年もたくさんの子どもたちに、国技である相撲を通して、勝つても驕らず敗者を思いやる心、負けても挫けず勝者を称える心、そして周囲の方への感謝の心を育むことができたと考えております。今後も地域の宝である子どもたちに、学び、成長する機会を提供する事業を展開してまいります。「心にいつもわんぱくピース！」

# その他事業・活動

Activities

## 異業種交流会

5月12日に小高区のhaccobaで、10月21日に原町区のNARUで異業種交流会を開催しました。様々な職種の方に、鹿島区や飯館村からもご参加いただきました。事業PRや名刺交換を通じて、ビジネス・友情の輪が広がりました。アンケートでも、「知り合いが増えた」「地域のことを話せた」などの声が寄せられました。



## 追悼福興花火

8月11日、震災で犠牲になった方たちを悼む「追悼福興花火」を菅浜地区特設会場にて開催しました。福興浜団や原町商工会議所青年部とともに実行委員会を組織し、月命日にあわせて開催しています。

今年度は新型コロナウイルスの影響を鑑み、ステージイベントは実施を見送りましたが、2000発の花火を打ち上げるとともに飲食出店を実施するなどし、多くの市民に来場いただきました。夏の夜空を彩る花火を楽しむとともに、震災の記憶を忘れないよう気持ちを新たにする1日となりました。



## 災害支援

3月16日、福島県沖を震源とする震度6強の地震により、我々の活動エリアも甚大な被害を受けました。災害発生を受け、JCI原町では南相馬市社会福祉協議会様と早急に連携し、4月24日まで災害ボランティアセンターを共同運営しました。

また一般社団法人成田青年会議所より飲料水50箱と福島ブロック協議会より飲料水100箱のご支援をいただき、災害ボランティアセンターへお繋ぎさせていただきました。



(一社)成田青年会議所様からのご支援



(公社)日本青年会議所東北地区福島ブロック協議会様からのご支援

## 第53代理事長 佐藤 健太 Kenta Sato 株式会社SKブラスト



本年度は、スローガンに『Pioneer with Action!!～未来を行動で切り拓こう～』を据えて事業を展開してまいりました。1970年の原町青年会議所創立以来、これまで多くの先輩方が会議と活動・運動を重ね、まさに地域のパイオニアとしてアクションを起こし続けてまいりました。

この長い歴史において一般社団法人原町青年会議所の活動エリアである、「飯館村」から初の理事長という新たな1ページを刻ませていただけたことは、この上ない喜びと大きな誇りであると共に、この立場を与えていただき、2022年度の私たちの活動・運動に、ご理解ご協力そして多大なるご支援をいただきました全ての皆様に心から感謝と御礼を申し上げます。

本年度の事業において、年明けの『立候補予定者による南相馬市長選挙 公開討論会』を皮切りに事業をスタートいたしました。しかしながら、昨年度同様に前半は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響によって思うように事業展開をすることが出来ず、やむなく延期や中止をせざるを得ない事業もございましたが、各委員会共に、常にアフターコロナを見据え柔軟に進めていただきました。

そうした中で本年2月24日に始まったロシアによるウクライナ軍事侵攻という、現代社会においてあってはならない状況を目の当たりにし、世界情勢も大きく変化を遂げる中で、物価の高騰が私たちの生業や生活を圧迫しています。

また、毎年様々な自然災害が頻発し我々の活動エリアも地震による被害を受け、まだまだ復旧に至っていないところもあり、二重三重の苦しみがのしかかっています。

これらにおいても、常に自分ごととして捉え、何をすべきなのか考え、アクションを起こして行きたいと思えます。

結びに、次世代の為にも、明日を生きることが出来なかった人たちの為にも、今後も歩みを止めず地域がより良く、より住みやすくなるよう、全力で活動・運動を進めてまいります。

1年間、本当にありがとうございました。



### 南相馬市社会福祉協議会との災害協定締結

11月14日に、社会福祉法人南相馬市社会福祉協議会様と「災害時における協力を関する協定」を締結いたしました。

3月に発生した福島県沖地震の際には、他団体も含めてボランティアセンターを共同運営するなど、近年協力関係を深めてきた中で、今回の協定締結に至ることが出来ました。

自然災害が発生した際にお互いの組織及び機能を最大限活用し、効率的・効果的に被災者支援活動を行っていくために、相互の協力を確認しました。

有事の際だけではなく、平時から情報交換の機会を設け、更なる連携の強化に努めてまいります。



### ベビーファースト宣言

8月29日にサンライフ南相馬において、南相馬市・市内企業合同での「ベビーファースト運動」活動宣言セレモニーを行いました。

ベビーファースト運動とはJCI日本が推進している運動のことで、子育て世代が子どもを産み育てたくなる社会を実現するため、社会全体の空気感を変えていく運動のことを言います。

南相馬市子ども家庭課様主導のもと、南相馬市のほか、市内企業16社にこの取り組みへご賛同・ご参画していただきました。

今後も地域全体で子育てを応援し支えていけるよう、引き続き運動を展開して参ります。

## 今年度の取り組み

### 2022 Monthly Activity

1/7 公開討論会 1/20-23 京都会議 1/28 定時総会	2/5 新春のついで 2/25 相双4JC合同例会	3/24 会員拡大セミナー 3/26 日本総会	4/2 ハッピーロードネット植樹 4/16 移動例会	5/12 異業種交流会 5/25 認承証伝達記念花見懇親会 5/26 わんぱく相撲原町場所	6/5 南相馬市鎮魂復興市民権樹祭 6/12 JCカップ福島大会 6/19 わんぱく相撲ブロック大会	7/2-3 福島ブロック大会 7/16-17 サマーコンファレンス	8/11 追悼復興花火 8/21 わんぱく相撲女子全国大会 8/29 臨時総会	9/3-4 東北青年フォーラム 9/10 標準祭り 9/14 中間事業報告会 9/18 JCカップ全国大会 9/21-10/2 ふるさと絵画展	10/2 絵画展表彰式 10/7-10 全国大会 10/21 異業種交流会 10/29-30 わんぱく相撲全国大会 10/31-11/4 世界会議香港大会 10/29-2/19 ふるさと絵画展 全国展	11/3 あきいち 11/14 南相馬市社会福祉協議会災害協定締結式 11/21 相双4JC 卒業式 11/27 福島ブロック事業報告会、卒業式	12/2 東北地区卒業式 12/10 卒業式
----------------------------------------	------------------------------	----------------------------	-------------------------------	-----------------------------------------------------	----------------------------------------------------------	--------------------------------------	-----------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------	---------------------------

## Activities

# 第54代 理事長候補者 岡田 祐司 Yuji Okada

メイクサイン



私たちが日々生活できているのは、家族や仲間がいるからです。  
 私たちにできることはなんでしょうか。私たちにしかできないことはなんでしょうか。  
 JCI 原町は日々考えそれを実行に移していきます。  
 青年としての正義感、理想を追求する心、真摯な情熱という価値観のもと積極的にかかわってきました。  
 それぞれの時代で人は変わり、手法や表現は異なっても、創始の「志」は脈々と受け継がれています。  
 この地域で生活し、JCI 原町という組織に属し日々邁進しているメンバーは、私にとって誇りであり、この地域の代表者になる存在であると感じています。  
 しかし、そんな存在の JCI 原町は卒業していくメンバーが多くなっていることもあり、来年度の期首会員は30名をきったスタートになります。  
 震災時からみても最も少ない状態になってしまいます。  
 これまで多くのメンバーがいて JCI 原町は成長してきました。  
 メンバー1人ひとりが周りの事を考え、思いやりや協力し合う気持ちをもってJC活動、運動に取り組んでいくことが重要です。  
 これまで以上にメンバーが手を取り合い団結力をもって活動していき JCI 原町の未来を素晴らしいものにしていきましょう！  
 私たちと共にこの地域の未来をこれまで以上に明るくできるメンバーを随時募集しています。  
 会員が1人でも多くいればこの地域がより良くなりその輪は大きなものとなっていくと確信しています。来年1年間よろしく願いいたします。

## 一般社団法人原町青年会議所 2023年度 組織図 (予定)



委員会名	総務広報委員会	未来創造委員会
委員長	佐藤 拓也 (株)双葉不動産	鈴木 涼平 常磐共同ガス(株)
副委員長	高田 江美子 BACKSTAGE WORKS	小林 正人 Compass
	高野 優太 (有)光リース	佐藤 晃大 京大個別会原町本校
	山本 啓史 studio firmus	前田 大輔 ホテル丸屋グランデ
幹事	賀澤 大輔 あぶくま信用金庫	桑葉 怜 kuwaba建築
委員	岩間 永吉 (株)丸永総業	太田 拓希 福島民報社
	木幡 祐也 (有)コワタコーポレーション	岡田 秀太 CreateBar SHELTER
	坪倉 淳子 福島民友新聞社	志賀 大真 (株)東邦銀行
		三品 太 (有)三品電設

Organization

<p>メイクサイン</p> <p>〒975-0003 福島県南相馬市原町区栄町一丁目72-2 e-mail: m.k.sign@icloud.com</p>	<p>各種プラスト処理のご用命はSKプラストへ</p> <p><b>株式会社 SKプラスト</b> SK Blast Co., Ltd.</p> <p>代表取締役 佐藤健太 〒960-1636 相馬郡飯館村前田字古今明220</p> 			
<p>タクシーのご用命は 接客第一の 富士タクシーへ</p> <p>お気軽に お電話ください</p> <p>0244-32-0030</p> <p>富士タクシー</p>	<p>街の保険屋さん だからできること</p> <p>有限会社 トラスト</p> <p>〒975-0032 福島県南相馬市原町区桜井町1-261 TEL 0244-23-0802(0803) FAX 0244-25-4631</p>	<p>三嶋神社</p>	<p>倉、足場工事</p> <p><b>Hikari Lease</b></p> <p>有限会社 光リース 南相馬市原町区陣ヶ崎115 TEL 0244-25-3732</p>	<p>kuwaba建築</p>
<p>ガスも 電気も ガソリンも</p> <p>相馬ガス MUSE TOHI DUSKIN MS&amp;AD</p> <p>相馬ガスグループ</p>	<p>株式会社 双葉不動産</p> <p>売りたい/買いたい/貸したい/借りたい お気軽に相談ください</p> <p>お問い合わせ (南相馬支店) 10:00-18:00 tel 0244-26-5175 水曜定休 minamisoma@futaba-estate.com</p>	<p>Compass</p> <p>映像制作 / 各種印刷物制作 広報活動支援</p> <p>mobile: 090-2791-9045 e-mail: kobayashi.masato1984@gmail.com 〒975-0006 福島県南相馬市原町区橋本町二丁目95-5</p>	<p>協心 KYOSHIN</p>	<p>常磐共同ガス株式会社</p> <p>南相馬営業所 南相馬市原町区高見町1丁目148 浪江営業所 双葉郡浪江町大字権原字下蔵後日14-1 国分テナント1階東 https://jkg-energy.co.jp/</p> <p>0120-43-3148</p>
<p>リサイクルで社会に貢献</p> <p><b>TAKARYO</b></p> <p>〒975-0007 福島県南相馬市原町区南町一丁目93番地 TEL 0244-22-7111 FAX 0244-22-7114</p>	<p>有限会社 岡崎造花店</p> <p>岡崎葬祭会館</p> <p>〒975-0061 南相馬市原町区大木戸字西原2-9 電話 0244-23-0488</p> <p>〒975-0008 南相馬市原町区本町1-125 電話 0244-23-3774</p>	<p>まつもと司法書士事務所</p> <p>tel: (0244)26-8172</p>	<p>京大個別会 原町本校</p>	<p>Create Bar SHELTER</p> <p>クリエイティブ・シェルター</p> <p>tel 0244-32-0855</p>
<p>ホテル丸屋グランデ</p> <p>〒975-0004 福島県南相馬市原町区旭町2-28 TEL: 0244-23-6221 FAX: 0244-23-4601</p>	<p>福島民友</p>	<p>福島民報</p>	<p>有限会社 三品電設</p> <p>南相馬市原町区本陣前3-339-10 tel 0244-22-2073</p>	<p>地域の「美味しい」を集める・届ける</p> <p>みなみそうま百貨店</p> <p>みなみそうま百貨店</p>

# Member



吉田 文彦  
(有)トラスト  
2008年入会



谷田部 真敏  
(株)やまさん  
2008年入会



松本 亮真  
まつもと司法書士事務所  
2013年入会



但野 謙介  
(一社)バイオニズム  
2011年入会



高橋 良輔  
(株)高良  
2011年入会



岡崎 由佳  
(有)岡崎造花店  
2008年入会

卒業生  
Graduation



坪倉 淳子  
福島民友新聞社



鈴木 涼平  
常磐共同ガス(株)



桑葉 怜  
kuwaba建築



貝塚 大暉  
相馬ガスHD(株)



太田 拓希  
福島民報社



大川 翔  
今日もOK

新入会員  
New member

## 新入会員募集

### 【活動内容】

原町青年会議所は、「明るい豊かな社会」の実現を目指し、様々な市民運動・社会貢献活動を行う団体です。町のイベントや祭りなど様々なところでJCメンバーが活躍しています。既存の枠組みに縛られず、自分たちの手で新しいことを始めることも出来ます。会員資格は20歳から40歳であること。メンバーの職業や立場も異なります。メンバー皆立場も異なるので、自分たちの都合のあうときに活動をしています。同世代の仲間と町を面白くしてみませんか。

### 【入会資格】

南相馬市及び飯館村に住所または勤務先を有する、年齢が満20歳以上40歳未満の青年で、青年会議所運動をするのに支障のない条件を備えていること。

### 【お問い合わせ】

一般社団法人 原町青年会議所  
TEL:0244(23)5520  
※入会申し込みに関して、ご不明な点やご質問等はお気軽にお問い合わせください。

SNS



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



Publishing 発行

2022年12月発行  
発行元：一般社団法人原町青年会議所  
〒975-0008 福島県南相馬市原町区本町2-55-1  
TEL: 0244(23)5520 mail: jc450@feel.ne.jp/  
FAX: 0244(24)5520 URL: https://www.jc450.com/